

41  
まいん

とうなるしょうがっこうあと  
東平小学校跡



昭和43年(1968)  
原 茂夫氏撮影

育つよ育つ東平の  
学びの校庭にみな強く  
とうなる

とうなる  
東平小学校は、明治39年(1906)10月17日に私  
立住友東平尋常高等小学校として創設されました。

明治41年、私立東平尋常小学校と改称され、児童数も開校当時の7  
倍に当たる142名に増えました。



卒業証書を手しに雪の校庭で市長さんと語る  
昭和43年 原 茂夫氏撮影



現在の東平小学校跡

昭和36年(1961)に公立に移管し、新居浜市立東平小学校となりました。

そして、昭和43年2月28日に閉校されるまでの62年間、2,574名の子  
供たちを見守ってきた小学校も東平坑の閉坑とともにその長い歴史に  
終止符を打ちました。本来であれば、卒業式は3月に行われますが、東  
平撤退のため一か月繰り上げての卒業式(閉校式)となりました。

当時の在校生は、<sup>はでば</sup>端出場にある鹿森分校や角野小学  
校に転入していきました。この時の児童数は86名、学  
級数6、教職員数10名でした。

現在は銅山の里「自然の家」となっており、地元の  
小、中学校から毎年た  
くさんの子供たちが研  
修に訪れ、再び教育の  
場としての命を吹き返  
しています。



胸章と襟章

東平小学校校歌  
作詞 真鍋 熊次郎  
作曲 真鍋 熊次郎

赤石山のふところに  
緑の草木につつまれて  
育つよ育つ  
育つよ育つ東平の  
学びの校庭にみな強く  
銅山輝らす北斗星  
希みの道にいそしみて  
究めよ究め  
究めよ究め東平の  
学びの校庭にみなかしこ  
溪間に咲いた白百合  
頭をかしげかげうつす  
匂うよ匂う  
匂うよ匂う東平の  
学びの校庭にみな清く

昭和三二年制定

